キャリアパスインタビュー

様々な業務の経験が、
その先のキャリアに繋がる

保健福祉部　医療人材対策室長

寺嶋（てらしま）　智治（ともはる）

平成11年度採用　**行政・一般事務**

主な経歴

平成11年度～　産業経済部　地域産業振興課　主事
平成14年度～　仙台土木事務所　主事
平成17年度～　総務省　選挙部　政治資金課　事務官
平成18年度～　総務部　市町村課　主事
平成21年度～　総務部　人事課　主査～主任主査
平成25年度～　公立大学法人宮城大学　入試グループリーダー
平成28年度～　震災復興・企画部　震災復興政策課　主幹（班長）～ 課長補佐（班長）
令和２年度～　総務部　秘書課　総括課長補佐（調整担当）
令和４年度～　土木部　土木総務課　副参事兼総括課長補佐
令和６年度～　現職

県職員の仕事は多岐にわたります。私の場合、国の省庁での研修や公立大学法人への派遣など宮城県以外の組織でも勤務することができました。転勤の度に、全く違う業務を一から覚えなければならず大変ですが、逆に、様々な分野の知識や経験を得ることができます。首都圏や大都市の企業の一員として、壮大な目的のために働くこともすばらしいですが、生活に便利な宮城県で暮らし、自分の好きなことや得意なことを活かしながら、シンプルに「県民のために」と胸を張って働くことも魅力的であると私は思います。

CAREER HISTORY　キャリアヒストリー

22年目以降は、管理職として複数のチーム（班）をまとめ、課や室といった“組織”として最大のパフォーマンスを発揮できるよう業務に当たっています。

〈キャリアステップの例〉

- 部長・理事
- 副部長・参事
- 課長・副参事
- 課長補佐・主幹
- 主任主査・主査
- 主事・技師

26年目　保健福祉部　医療人材対策室長

今後、日本が抱える最も大きな課題は人口減少です。マンパワーが不足する中にあっても、医療はサービスの質を落とすことはできません。どうすれば、県民の皆様に持続的かつ最適な医療提供体制をつくれるのか、その方法を具体化し、実行するのが、私の現在の仕事です。

24年目　土木部　土木総務課　副参事兼総括課長補佐

22年目　総務部　秘書課　総括課長補佐（調整担当）

18年目　震災復興・企画部　震災復興政策課　主幹（班長）～ 課長補佐（班長）

15年目　公立大学法人宮城大学　入試グループリーダー

初めてのリーダー職。チームの仲間とともに、宮城県の未来を担う若者をサポートする仕事をやりがいを持って取り組みました。

15年目からは3～6人程度のチーム（班）をリーダーとしてマネジメントするようになり、業務の幅が広がりました。

11年目　総務部　人事課　主査～主任主査

8年目　総務部　市町村課　主事

県内の各市町村から派遣されて来た職員の方々と未来の市町村の在り様を議論しながら仕事をし、とても熱気に溢れた毎日でした。

7年目　総務省　選挙部　政治資金課　事務官

国の省庁で、国の職員や全国から同じように集まった自治体職員と、今話題の政治資金規正法に関する仕事に連日遅くまで取り組みました。

若かりし頃のスタイルは、今思えば、だいぶ勢い任せだったかもしれません！

4年目　仙台土木事務所　主事

初めての異動後は、土木事務所でインフラの維持管理や許認可の仕事を担当しました。

1年目　産業経済部　地域産業振興課　主事

初任地で担当したのは、宮城県の「伝統的工芸品の振興」です。上司や同僚、工芸品産地の方々とともに、様々な事にチャレンジしました。その当時、新たにつくったシンボルマークが今でもチラシなどで使われているのを見ると嬉しい気持ちになります。

MESSAGE　宮城県職員を目指すあなたへ

「面白きこともなき世をおもしろく」するのは何だと思いますか？私も「面白くしようとする“心の持ちよう”※」だと考えています。つまり、皆さんが宮城県職員になって、「世の中を面白くしたい」と様々なことにチャレンジすれば、皆さん自身の成長だけでなく、宮城県の発展にも結びつくと思います。一緒に、“面白いみやぎ”をつくりましょう！

※「面白き　こともなき世を　おもしろく　住みなすものは　心なりけり」
高杉晋作・野村望東尼